



鎌倉の出版社

港の人

ご注文は JRC へ

FAX 03-3294-2177

チャーリー・ワッツ

ISBN978-4-89629-465-1 C0092 四六判変型並製本／本文 152 頁／定価：2640 円税込

金雀枝(えにしだ)のヨハネ

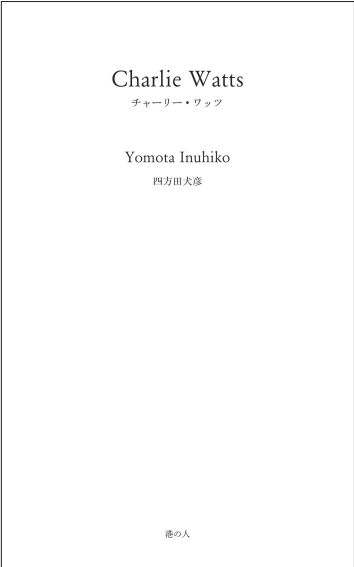
ISBN978-4-89629-466-8 C0092 四六判変型並製本／本文 152 頁／定価：2640 円税込

よ も た いぬ ひこ
四方田犬彦

20 年以上にわたって書かれた詩篇 34 篇を集めた

四方田犬彦ドーナツ盤コレクション！

ローリング・ストーンズの偉大なドラマー
チャーリー・ワッツの音楽に感動し、
その名を書名につける。



四方田犬彦、
清々しくしなやかな精神の襞から
二冊の傑作詩集、誕生する

もし苦痛が他の苦痛でしか表象しえないとしたら
詩を書くことに何の意味があるのか。
詩が中断されるのではない。
わたしが中断された詩なのだ。(「ガザに目なし」より)



四方田犬彦 よもたいぬひこ

1953 年、大阪箕面生。詩集に『人生の乞食』（書肆山田、2007）、『わが煉獄』（港の人、2014）、『離火』（港の人、2021）他がある。翻訳詩集にピエル・パオロ・パゾリーニ『パゾリーニ詩集 増補新版』（みすず書房、2024）、マフムード・ダルウィーシュ『パレスチナ詩集』（ちくま文庫、2024）、チラナン・ピットブリーチャ『消えてしまった葉』（共訳、港の人、2018）がある。詩論集『詩の約束』（作品社、2018）で鮎川信夫賞を受けた。

* すべての取次からご注文は可能です（JRC 経由）。返品条件付き注文扱い

金枝とは生者があの世へ降下する際に必要なお護り。この詩集には「金枝」「この世の栄光の終わり」「金雀枝のヨハネ」、計 9 篇を収める。
岩成達也、ジャン・ジュネなど死者への眼差しは深く透徹し、果敢に死者の魂にわたり行くために書かれた本詩集は壮大な叙事詩であり、世界の果てをのぞむのか。

番線印	ご注文数	チャーリー・ワッツ
	冊	ISBN978-4-89629-465-1 定価 2640 円税込
ご担当：	冊	金雀枝 (えにしだ) のヨハネ
様		ISBN978-4-89629-466-8 定価 2640 円税込